

小型・軽量と高性能を両立したフルサイズミラーレスカメラ“EOS R8”と 携帯性に優れた標準ズームレンズ“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”を発売

キヤノンは、初めてフルサイズミラーレスカメラを使用するユーザーにも最適な性能を凝縮した、小型・軽量のフルサイズミラーレスカメラ“EOS R8”とコンパクトで携帯性に優れた標準ズームレンズ“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”を2023年4月下旬に発売します。



EOS R8
* RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM 装着時



RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM



フルサイズならではの大きなボケ味

“EOS R8”は、上位機種「EOS R6 Mark II」（2022年12月発売）の高い基本性能を継承しながら、小型・軽量を実現したフルサイズミラーレスカメラです。携帯性に優れた標準ズームレンズ“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”との組み合わせにより、小型・軽量のシステムを実現することで、気軽に本格的な撮影を楽しみたいユーザーのニーズに応えます。

1. フルサイズならではの豊かな表現力と小型・軽量ボディを両立

有効画素数最大約 2420 万画素^{※1}フルサイズ CMOS センサーと、映像エンジン「DIGIC X」により高画質を実現し、大きなボケ味や広いダイナミックレンジなど、フルサイズならではの豊かな表現が可能です。また、常用で最高 ISO102400（静止画撮影時）の高感度撮影により、夜間や室内の暗いシーンでも、自由度の高い撮影表現が可能です。さらに、大きさは約 132.5mm（幅）×86.1mm（高さ）×70.0mm（奥行き）、質量は EOS R シリーズのフルサイズミラーレスカメラで最軽量となる約 461 g^{※2}の小型・軽量ボディにより、優れた機動性を実現します。

2. AF 性能や高速連写・動画性能など上位機種「EOS R6 Mark II」の高い基本性能を継承

幅広い撮影領域をカバーする高速・高精度な AF や優れた被写体検出に加え、AF/AE 追従で最高約 40 コマ/秒の高速連写^{※3}（電子シャッター撮影時）など、「EOS R6 Mark II」の高い基本性能を継承しています。さらに、クロップなしの 6K オーバーサンプリングによる 4K/60P 動画撮影や、フル HD/180P ハイフレームレート動画撮影^{※4}、動画撮影ボタンを押す 5 秒前または 3 秒前から動画を記録できる「プレ記録」機能^{※5}などにより、Vlog や SNS などで需要の高まる動画撮影にも応えます。

3. 小型・軽量で携帯性に優れた標準ズームレンズ“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”

全長約 58mm、質量約 210g の小型・軽量と快適な操作性を両立しています。また、レンズ内光学式手ブレ補正機構により 4.5 段^{※6}、ボディ内手ブレ補正機構を搭載したカメラとの協調制御により 7.0 段^{※6}の手ブレ補正効果を発揮します。さらに、リードスクリュータイプのステップモーター（STM）の搭載による自然でなめらかな動画 AF など、さまざまなシーンで快適な撮影を実現します。

※1. 総画素数 2560 万画素。使用するレンズまたは画像処理により、有効画素が減少することがあります。

※2. 2023年2月8日時点。質量はバッテリー、カードを含む。CIPA 規格に準拠。

※3. 連続撮影速度の条件およびサーボ AF 時に最高連続撮影速度に対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※4. 4K/60P は 4K UHD（59.94fps/50.00fps）、フル HD/180P はフル HD（179.82fps/150.00fps）。

※5. ハイフレームレート動画撮影、タイムラプス動画撮影時にはプレ記録ができません。プレ記録を ON にすると発熱しやすくなるため、長時間撮影する場合は、フレームレートを下げるか、フル HD に変更することをお勧めします。

※6. 動作条件は、5 ページ 2.の※1、※2に記載。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS R8	オープン価格	2023 年 4 月下旬
RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM		

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“EOS R8”の主な特長〉

1. フルサイズならではの豊かな表現力と小型・軽量ボディを両立

- 有効画素数最大約 2420 万画素フルサイズ CMOS センサーと、映像エンジン「DIGIC X」により高画質を実現し、大きなボケ味や広いダイナミックレンジなどフルサイズならではの豊かな表現が可能。
- 静止画撮影時に常用で最高 ISO102400 の高感度撮影を実現。夜間や室内の暗いシーンでも、自由度の高い撮影表現が可能。
- レンズの収差などを補正し、解像感を向上する「デジタルレンズオプティマイザ」に対応。これにより、質感や立体感の表現力も向上。
- 「HDR PQ」方式での静止画／動画記録や、高速でブラケット撮影を行い、カメラ内で 3 枚の写真を 1 枚に合成する「HDR モード（D レンジ優先）」に対応。さらに「HDR モード（動体優先）」^{※1}を搭載し、人物や動物、飛行機や鉄道などの動いている被写体に対しても、1 枚で広いダイナミックレンジで記録することが可能。
- 大きさは約 132.5mm（幅）×86.1mm（高さ）×70.0mm（奥行き）、質量は EOS R シリーズのフルサイズミラーレスカメラで最軽量となる約 461 g の小型・軽量ボディを実現。
- Windows 版の「Digital Photo Professional」で使用できる新サービス「Neural network Image Processing Tool（有償）」^{※2}に対応。また、2023 年 4 月中旬公開予定の「Neural network Upscaling Tool（有償）」^{※2※3}にも対応し、ディープラーニング技術を用いた画像処理技術により、JPEG と TIFF 画像の縦横の画素数を 2 倍、面積を 4 倍（6000×4000 画素の場合は、9600 万画素）にし、精細感のある画像を生成することが可能。



高感度性能を生かした夜景の撮影

- ※1. HDR モード（動体優先）設定時は、ISO 感度の下限が ISO800 になります。RAW 画像は撮影できません。また、「電子シャッター」選択時は、ローリングシャッター歪みにより被写体の歪みが大きくなる場合があります。
- ※2. 「Digital Photo Professional」で本サービスを使用するには、あらかじめ「Canon Imaging App Service Plans」からプラン購入が必要です。
- ※3. 本機能の一部の処理では高画質処理とならない場合があります。

2. 決定的な瞬間を捉える高速 AF・高速連写

- 「デュアルピクセル CMOS AF II」による幅広い撮影領域をカバーする高速・高精度な AF や優れた被写体検出など、上位機種である「EOS R6 Mark II」の高い基本性能を継承。
- ディープラーニング技術を活用した「EOS iTR^{※1} AF X」により、優れた被写体検出性能とトラッキング性能を実現。「人物」では人の瞳・顔・頭部・胴体、「動物優先」では犬・猫・鳥・馬の瞳・顔・全身、「乗り物優先」ではモータースポーツ（車・バイク）・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）の全体・スポット検出に対応^{※2}。
- 被写体の検出対象をメニューで切り替えることなく、カメラが自動で被写体を選択する「自動」設定を搭載。
- 電子シャッターによる撮影時は、AF／AE 追従で最高約 40 コマ/秒の高速連写を実現。
- 電子先幕による撮影時は、AF／AE 追従で最高約 6 コマ/秒の連続撮影が可能。
- 「RAW バーストモード^{※3}」を搭載。電子シャッター、RAW 記録による最高約 30 コマ/秒、AF 追従の連続撮影^{※4}を実現。また、シャッターボタンを押す直前（約 0.5 秒前）から記録を開始する「プリ撮影」にも対応。撮影開始のタイミングが予測しづらい場面でも、一瞬のシャッターチャンスを逃すことなく撮影が可能。



決定的な瞬間を捉える高速 AF・高速連写

- ※1. Intelligent Tracking and Recognition
- ※2. 被写体によっては検出できないことがあります。また、対象ではない被写体を検出する場合があります。
- ※3. 被写体や撮影条件によっては、ローリングシャッター歪みが発生する場合があります。
- ※4. 14bit RAW（キヤノン独自、12bit A/D 変換）となります。AE は 1 コマ目固定となります。

3. Vlog など多様な撮影ニーズに応える動画性能

- クロップなしの 6K オーバーサンプリングによる高画質な 4K/60P 動画撮影を実現。
- クロップなしのフル HD/180P ハイフレームレート動画撮影に対応。再生時 1/6 倍速の印象的なスロー効果を実現。
- 「プレ記録」機能の搭載により、動画撮影ボタンを押す 5 秒前または 3 秒前から動画を記録することが可能。不意に訪れるシーンやシーンの変化を待つ間に記録し続ける必要がないため、不要な動画データが減り、ファイルサイズの節約や編集作業の負荷軽減などに貢献。
- 「デュアルピクセル CMOS AF II」により、静止画同様の AF エリア設定、被写体検出性能、トラッキング性能を実現。また、動画撮影時、常用 ISO25600 により、暗いシーンでもノイズを抑えた高画質な映像が撮影可能。
- 「EOS iTR AF X」による被写体検出機能を生かし、動き回る被写体でも広い範囲で追尾することが可能。
- 30 分以上の連続撮影が可能。最長 2 時間^{※1}まで記録することができ、長尺の撮影にも対応。
- 静止画を撮影するだけで、静止画と同時に、撮影直前の約 2~4 秒のシーンが動画として記録され、1 日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）が自動記録される「プラスムービーオートモード」に対応。
- フォーカシングによる画角の変化を光学設計値に基づいてカメラが補正するフォーカスブリージング補正^{※2}に対応し、高品位な動画撮影を実現。
- UVC（USB Video Class）/UAC（USB Audio Class）に対応し、ウェブカメラとして使用可能。ストリーミング配信やリモート会議で、フルサイズカメラならではの高画質な映像やレンズのボケ味を生かした映像の配信を実現^{※3}。
- キヤノン独自のガンマ特性「Canon Log 3」に対応。従来の「Canon Log」よりもハイライトの階調が飛びにくく、コントラストの高いシーンでも豊かな階調表現が可能。

※1. フル HD（179.82fps/150.00fps）時は最大 20 分、フル HD（119.88fps/100.00fps）時は最大 30 分となります。カメラの温度上昇、電源、エラーなどの要因による自動停止を除きます。

※2. フォーカスブリージング補正機能を使用すると画角が狭くなります。対応レンズについてはキヤノンホームページをご確認ください。

※3. カメラ内のメモリーカードへの記録は行われません。長時間使用する場合、別売りの「AC-E6N」および「DR-E18」の使用をお勧めします。



多様な動画撮影のニーズにも対応

4. 幅広いユーザーの使いやすさを追求した操作性や通信機能

- 静止画撮影/動画撮影切り替えスイッチを採用。どちらの撮影状態か容易に確認でき、設定の間違いを防ぐことが可能。また、電源スイッチを上部右側に配置することで、主要な操作が片手で完結するなど、快適な操作性を実現。
- パリアングル液晶モニターを採用。ハイアングル/ローアングル、横位置/縦位置など、自由な視点で静止画、動画を撮影することが可能。
- ファインダーをのぞいたまま指先でフォーカス対象を変更できる「タッチ&ドラッグ AF」を搭載。直感的かつスピーディーに AF フレームを移動させることが可能。
- 防じん・防滴構造^{※1}を採用し、水滴や砂じんのカメラ内部への侵入を抑制し、信頼性を確保。
- カメラからキヤノンのクラウドサービス「image.canon」への画像自動転送に対応。「image.canon」では、「Google Photos」、「Adobe Photoshop Lightroom」、「Frame.io」などの外部のウェブサービスへのデータ転送ができ、撮影した静止画や動画を手軽にバックアップ・編集することが可能^{※2}。



使いやすさを追求した操作系



自由な視点で快適な撮影が可能

※1. 雨滴やほこりの侵入を完全に防ぐものではありません。

※2. 自動転送には、事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続している必要があります。また、「Google Photos」へは静止画のみ転送可能です。

〈“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”の主な特長〉

1. 小型・軽量と高画質を両立した標準ズームレンズ

- 全長約 58mm、質量約 210g の小型・軽量設計を実現。また、“EOS R8”との組み合わせにより、小型・軽量のシステムを実現し、気軽に本格的な撮影が可能。



標準ズームレンズのラインナップに小型・軽量な“RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM”を追加

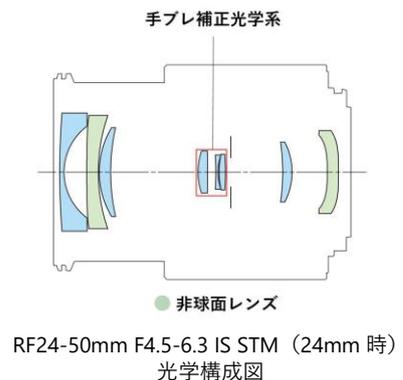
- 2枚の「非球面レンズ」を含む8群8枚のレンズ光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、高画質を実現。
- 広大な風景や大きな建造物、狭い室内などの撮影に有効な焦点距離 24mm の広角から、日常のスナップに適した焦点距離 50mm のズーム域をカバー。Vlog などの動画撮影にも好適。
- EOS R シリーズの APS-C サイズカメラ装着時には、35mm 判換算で焦点距離約 38-80mm 相当のズームレンズとして活用可能。



焦点距離 24mm
狭い室内などの広角撮影にも有効



焦点距離 50mm
日常のスナップにも好適



2. レンズ内手ブレ補正により 4.5 段、ボディー内手ブレ補正との協調制御により 7.0 段の手ブレ補正効果

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 4.5 段^{※1}の手ブレ補正効果を実現。“EOS R8”などのボディー内手ブレ補正機構を搭載していないカメラとの組み合わせでも、高い手ブレ補正効果を発揮。
- ボディー内手ブレ補正機構を搭載したカメラとの協調制御により、7.0 段^{※2}の手ブレ補正効果を実現。
- 電子動画 IS^{※3} 搭載カメラとの協調制御により、動画撮影時のブレを効果的に軽減。歩きながらの撮影など、多様な撮影シーンに対応可能。

※1. 焦点距離 50mm、EOS R 使用時。CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

※2. 焦点距離 50mm、EOS R3 使用時。CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

※3. 動画電子 IS 使用時は、撮影範囲が狭くなります。

3. 自然でなめらかな AF による快適な動画撮影や表現の幅を広げる近接撮影を実現

- リードスクリュータイプのステッピングモーター（STM）の搭載により、動画撮影時にも自然でなめらかな AF が可能。Vlog や SNS などで需要の高まる動画撮影ニーズに対応。
- 動画撮影中のフォーカス操作によって生じる画角変動を、カメラで電子的に補正する「フォーカスブリージング補正^{※1}」に対応。

※1. フォーカスブリージング補正対応のカメラ装着時。

〈商品構成（キット内容）〉

名称	内容
EOS R8・ボディー	EOS R8
EOS R8・RF24-50 IS STM レンズキット	EOS R8 RF24-50mm F4.5-6.3 IS STM

〈レンズ交換式カメラの市場動向〉

2022 年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約 585 万台となりました。2023 年も、約 585 万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/lineup/r8/>

- * Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * Android、Google Photos は Google LLC の商標です。
- * Adobe、Photoshop、Lightroom はそれぞれ、アメリカ合衆国およびその他の国々におけるAdobe（アドビ社）の商標または登録商標です。
- * Frame.io はアメリカ合衆国およびその他の国々におけるAdobe（アドビ社）の商標または登録商標です。
- * その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。